



なぜリクルートテクノロジーズは月を目指すのか。



世界初の月面レースGoogle Lunar XPRIZEの日本チームとして月を目指すHAKUTO。そのパートナー企業としてリクルートテクノロジーズはチームに参加している。

リクルートテクノロジーズはリクルートグループをITとネットマーケティングの専門スキルで支え、牽引する会社。リクルートの様々なビジネスドメインを持つ膨大なデータを分析し、新たなビジネスを生み出していく、リクルートグループの心臓部分も担っている。

リクルートテクノロジーズには二つの顔がある。ITソリューションでビジネスに新たな価値をもたらす顔。そして、テクノロジーファーストのアプローチで新たなテクノロジーを探し、ITソリューションに仕立てる顔。その両輪がうまくかみ合うことで、メンバーの一人ひとりが挑戦をすることで、会社は成長を続けてきた。

「未知のデータを分析できることは一つのモチベーション。宇宙のこれまで見たこともないようなデータを見られると思うだけでワクワクするじゃないですか」そう担当者は語る。

宇宙にビジネスチャンスはあるのか？新しいITソリューションの種はあるのか？答えを出すより先に、そこに可能性があるのなら、まずは走り出してみる。コールなんて走っている内に見えてくる。これもリクルートテクノロジーズの流儀だ。

なぜ月に行くのか。その問いに対して、社長である北村はこう答えたそうだ。「そこに月があるんたから。挑戦できるなら挑戦しようよ。チャンスがあるならチャレンジしない手はないでしょ？」

チャレンジし続けることで結果を出してきたリクルートテクノロジーズの新たな挑戦がはじまる。「そんなことするんだ、無茶するなあ、そんな風と言われるのがうれしいんですよ」挑戦者たちの顔は輝いていた。

さあ、月へ。リクルートテクノロジーズはHAKUTOを応援しています。

